

ADESSO

フォトフレーム電波時計

MODEL:8785

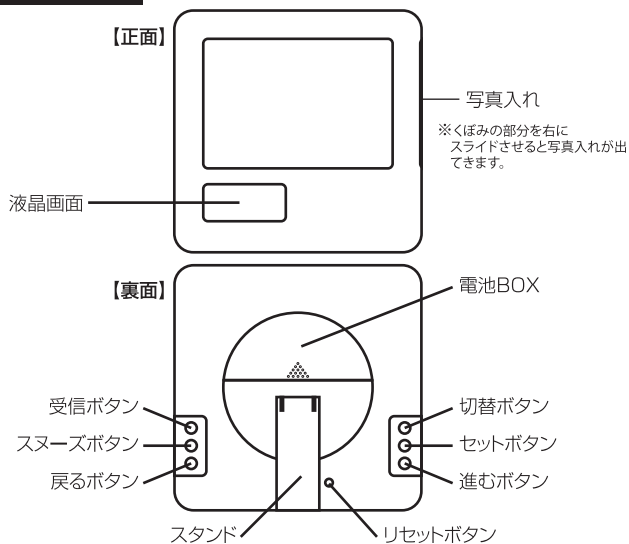
取扱説明書・保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

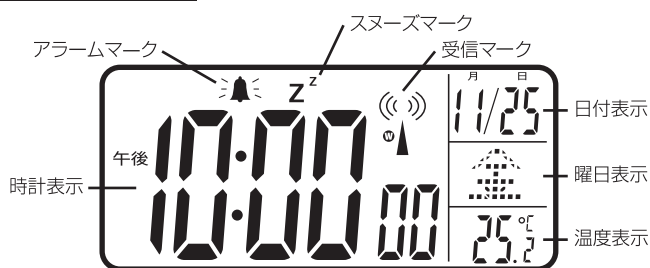
本製品の特長

- 東西(福島、佐賀)の標準電波40/60kHzを自動的に選局受信して、現在の時刻を表示する電波修正機能(日本国内有効)
 - 電波を受信できない場合でも、通常のクォーツ時計としてご使用になれます。
 - フォトフレーム
 - 温度表示機能
 - アラーム・スヌーズ機能
- ※この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。

各部の名称



画面上の記号



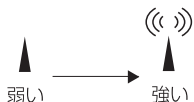
電波受信方法

■電波自動受信方法

1. 本体裏面の電池BOXを開けて、単4電池2個を⊕⊖を間違えないように入れてください。入れ終わると「ピッ」と音が鳴り、画面表示が全点灯します。電池フタを元に戻してください。
2. RESETを先の細いもので押してください。約2秒間全点灯の後、標準電波の受信を開始します。この時受信マーク ▲ が点滅します。

■受信強度

▲のマークのみが点滅されていると電波受信をしにくく、
((()))のマークが出ていると受信状況が良いサインです。



3. 本体を窓際などできるだけ電波の受信しやすい場所においてご使用ください。
- 受信できなかった場合、電波マーク ▲ が消灯し、時刻、カレンダーの修正は行いません。

※この場合、置場所を変えてから、**受信ボタン**を長押しすると電波マーク ▲ が点滅し、強制的に受信を開始します。**受信ボタン**を押すと電波マーク ▲ が消灯し電波受信が終了します。

※地域環境条件によっては受信不調により、受信に時間がかかる場合があります。一日の内で夜間の方が昼間に比べて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置くことにより受信できる場合があります。

※使用場所の受信状態が良くない場合、数分で受信を中断することができます。

電波を受信して時刻、カレンダーが正確なものになった後は電波マーク ((())) が常時点灯します。

手動での時刻の合わせ方(電波を受信できなかった場合)

●電波を自動受信できなかったときは、手動で時刻を合わせることができます。この場合時計はクォーツ精度で動作します。手動時刻設定中は各設定の点滅は約20秒間です。この間にボタン操作をしないと点滅が止まり、通常時刻表示に戻ります。

1. **セットボタン**を2秒間押すと年が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して年を合わせてください。
※**進む・戻るボタン**を押し続けると数字が早送り・早戻しします。
2. 次に、**セットボタン**を押すと月が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して月を合わせてください。
3. 再度、**セットボタン**を押すと日が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して日を合わせてください。
※曜日は日付をセットしたときに自動的に設定されます。
4. 再度、**セットボタン**を押すと時が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して時を合わせてください。
(午前・午後表示にお気を付けください。)
5. 再度、**セットボタン**を押すと分が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して分を合わせてください。
6. 再度、**セットボタン**を押すと秒が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押すと“00”秒からカウントを始めます。
7. 現在の秒を表示している時に、**セットボタン**を押してください。これで設定は終了です。

12/24時間制の切替方法

進むボタンを通常表示時に押すと12時間制・24時間制の変更ができます。

アラームについて

■アラームのセット方法

1. 通常時刻表示の時に**切替ボタン**を1回押すとアラーム時間モードになります。(ALと表示)
2. 次に、**セットボタン**を2秒間押すと時が点滅するので、**進む・戻るボタン**を押して時をセットしてください。
※**進む・戻るボタン**を押し続けると数字が早送り・早戻しします。
3. 再度、**セットボタン**を押すと分が点滅するので、**進む・戻るボタン**を押して分をセットしてください。
4. 再度、**セットボタン**を押したら**進むボタン**を押して、アラームマーク ▲ を点灯させてください。
※アラームマーク点灯で、アラームONになり、アラームマーク消灯でアラームOFFになります。
5. アラーム時間のセットが完了し、**切替ボタン**を押すと通常時刻表示に戻ります。

■アラームを止める場合(スヌーズ機能)

アラームが鳴っている時に**スヌーズボタン**を押すとスヌーズマーク Z^z が点滅し、スヌーズ機能が働きます。アラーム音が止まり約5分後に再び鳴り出します。

※アラームが鳴っている間はアラームマーク ▲ が点滅します。スヌーズ機能が終了すると(スヌーズボタン以外のボタンを押してアラームを止めると)アラームマーク ▲ の点滅に終わり、翌日の同時刻に再びアラームが鳴ります。

■アラームを止める場合(スヌーズなし)

- アラームが鳴っている時に**スヌーズボタン**以外のいずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。
※この場合、アラームマーク ▲ は表示されたまま、翌日のアラーム時刻に再び鳴り出します。
- アラームが鳴っている時にボタン操作を何もしないと、アラームは約2分間で自動的に止まります。
※この場合、アラームマーク ▲ は表示されたまま、翌日のアラーム時刻に再び鳴り出します。
- アラームを次の日から鳴らさないようにするには、**切替ボタン**を押してから**進むボタン**を押してアラームマーク ▲ を消灯させて、アラームをOFFにします。

温度計について

ご注意

※本製品は工業用計測器として使用する目的で製造されたものではありません。ご使用にあたっては、製品の特性を良くご理解の上お使いください。
※温度の精度誤差などにより生じる二次災害や損害等については、弊社では一切その責任を負えませんのでご了承ください。

電波クロックについて

●電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

福島県の大鷹島谷山(おおたかどややま)標準電波送信所(周波数40KHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はがねやま)標準電波送信所(同60KHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。

通常は東日本では東局(周波数40KHz)西日本では西局(同60KHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試しください。

※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。

※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±40秒の精度で計時します。

●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。
次のような場所・時間では正確に受信できないことがあります。

- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
- ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
 - ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
 - ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
- ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
 - ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
- ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
- ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
- ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなります。夜間に受信することをおすすめします。



液晶パネルについて

- 液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で洗い、石けんで良く洗浄してください。
- 目に入った場合
きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。

- 飲み込んだ場合
きれいな水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。

電池について

⚠ 警告

●アルカリ電池について

- ①ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- ②万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

●電池について

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- ①⊕⊖を正しく入れてください。
 - ②電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
 - ③この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
 - ④電池に直接ハンダ付けしないでください。
 - ⑤直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
 - ⑥時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
 - ⑦時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

- つぎのような所では、使わないでください。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
 - 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
 - 浴室など湿気の多い所。
 - 強い磁気や振動がある所。
 - 電波ノイズを発生させるものの近く。

■お手入れ方法

- 日常の手入れの仕方。
- わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
 - よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ばきしてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
 - 殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。